

## Ⅱ．令和５年度入学者用

別表第１（第１５条第１項関係）

科 目 区 分	授 業 科 目	地域がん 専門医育 成コース の専門科 目	医理工農 連携プロ グラム開 設科目	授業を行う 年次	単 位 数	
					講義 演習	実験 実習
必修科目	医学総合研究特論Ⅰ			１・２	１	
	医学総合研究特論Ⅱ			１・２	１	
選 択 必修科目	基礎医科学			１・２	１	２
	応用医科学			１・２	１	２
	臨床医科学			１・２	１	２
	臨床腫瘍学総論			１・２	２	１
選択科目	細胞生物学Ⅰ			１・２・３・４	２	３
	細胞生物学Ⅱ			１・２・３・４	２	３
	組織・器官系の構造と機能Ⅰ			１・２・３・４	２	３
	組織・器官系の構造と機能Ⅱ			１・２・３・４	２	３
	組織・器官系の構造と機能Ⅲ			１・２・３・４	２	３
	器官系の病態構造Ⅰ			１・２・３・４	２	３
	器官系の病態構造Ⅱ			１・２・３・４	２	３
	器官系の病態構造Ⅲ			１・２・３・４	２	３
	器官系の病態構造Ⅳ			１・２・３・４	２	３
	発生生物学Ⅰ			１・２・３・４	２	３
	発生生物学Ⅱ			１・２・３・４	２	３
	先天異常Ⅰ			１・２・３・４	２	３
	先天異常Ⅱ			１・２・３・４	２	３
	老化Ⅰ			１・２・３・４	２	３
	老化Ⅱ			１・２・３・４	２	３
	老化Ⅲ			１・２・３・４	２	３
	発癌Ⅰ	○		１・２・３・４	２	３
	発癌Ⅱ	○		１・２・３・４	２	３
	腫瘍生物学Ⅰ	○		１・２・３・４	２	３
	腫瘍生物学Ⅱ	○		１・２・３・４	２	３
	腫瘍生物学Ⅲ	○		１・２・３・４	２	３
	腫瘍生物学Ⅳ	○		１・２・３・４	２	３
	臨床腫瘍学Ⅰ	○		１・２・３・４	２	３
	臨床腫瘍学Ⅱ	○		１・２・３・４	２	３
	臨床腫瘍学Ⅲ	○		１・２・３・４	２	３
	臨床腫瘍学Ⅳ	○		１・２・３・４	２	３
	臨床腫瘍学Ⅴ	○		１・２・３・４	２	３

選択科目	臨床腫瘍学Ⅵ	○	1・2・3・4	2	3
	地域がん治療学	○	1・2・3・4	2	3
	口腔腫瘍学	○	1・2・3・4	2	3
	がん医療社会学	○	1・2・3・4	2	3
	緩和ケア学	○	1・2・3・4	2	3
	分子機能学Ⅰ		1・2・3・4	2	3
	分子機能学Ⅱ		1・2・3・4	2	3
	細胞機能学Ⅰ		1・2・3・4	2	3
	細胞機能学Ⅱ		1・2・3・4	2	3
	細胞内情報制御学Ⅰ		1・2・3・4	2	3
	細胞内情報制御学Ⅱ		1・2・3・4	2	3
	神経科学Ⅰ		1・2・3・4	2	3
	神経科学Ⅱ		1・2・3・4	2	3
	神経科学Ⅲ		1・2・3・4	2	3
	神経科学Ⅳ		1・2・3・4	2	3
	細胞間情報伝達学Ⅰ		1・2・3・4	2	3
	細胞間情報伝達学Ⅱ		1・2・3・4	2	3
	細胞間情報伝達学Ⅲ		1・2・3・4	2	3
	内分泌・代謝学Ⅰ		1・2・3・4	2	3
	内分泌・代謝学Ⅱ		1・2・3・4	2	3
	内分泌・代謝学Ⅲ		1・2・3・4	2	3
	生体システム学Ⅰ		1・2・3・4	2	3
	生体システム学Ⅱ		1・2・3・4	2	3
	生体機能測定学Ⅰ		1・2・3・4	2	3
	生体機能測定学Ⅱ		1・2・3・4	2	3
	生体機能測定学Ⅲ		1・2・3・4	2	3
	分子病態学Ⅰ		1・2・3・4	2	3
	分子病態学Ⅱ		1・2・3・4	2	3
	分子病態学Ⅲ		1・2・3・4	2	3
	臓器病態学Ⅰ		1・2・3・4	2	3
	臓器病態学Ⅱ		1・2・3・4	2	3
	臓器病態学Ⅲ		1・2・3・4	2	3
	生体病態学Ⅰ		1・2・3・4	2	3
	生体病態学Ⅱ		1・2・3・4	2	3
	生体病態学Ⅲ		1・2・3・4	2	3
	生体病態学Ⅳ		1・2・3・4	2	3
	薬物動態学Ⅰ	○	1・2・3・4	2	3
	薬物動態学Ⅱ	○	1・2・3・4	2	3

選択科目	基礎免疫学Ⅰ		1・2・3・4	2	3
	基礎免疫学Ⅱ		1・2・3・4	2	3
	臨床免疫学Ⅰ		1・2・3・4	2	3
	臨床免疫学Ⅱ		1・2・3・4	2	3
	腫瘍免疫学Ⅰ	○	1・2・3・4	2	3
	腫瘍免疫学Ⅱ	○	1・2・3・4	2	3
	移植免疫学Ⅰ		1・2・3・4	2	3
	移植免疫学Ⅱ		1・2・3・4	2	3
	感染症学Ⅰ		1・2・3・4	2	3
	感染症学Ⅱ		1・2・3・4	2	3
	感染症学Ⅲ		1・2・3・4	2	3
	細胞間相互作用Ⅰ		1・2・3・4	2	3
	中毒学Ⅰ		1・2・3・4	2	3
	中毒学Ⅱ		1・2・3・4	2	3
	個人識別学Ⅰ		1・2・3・4	2	3
	個人識別学Ⅱ		1・2・3・4	2	3
	環境医学Ⅰ		1・2・3・4	2	3
	環境医学Ⅱ		1・2・3・4	2	3
	医学・医療情報学Ⅰ		1・2・3・4	2	3
	医学・医療情報学Ⅱ		1・2・3・4	2	3
	総合診療・地域医療学		1・2・3・4	2	3
	医療疫学・統計学		1・2・3・4	2	3
	*Sustainability science and SDGS		1・2・3・4	2	
	*Science for a sustainable society and future Earth		1・2・3・4	1	
	*特別実践研究（P B L型授業）		1・2・3・4	2	
	医療のための光工学	○	1・2・3・4	2	3
	機能性物質・食品の医療応用と環境影響	○	1・2・3・4	2	3
臨床医学と社会・環境医学への高度情報学・数学の応用	○	1・2・3・4	2	3	
理工医学のための生物材料学及び放射線	○	1・2・3・4	2	3	
知的財産と社会連携	○	1・2・3・4	2	3	
（備考）	研究者育成コース，高度臨床医育成コース及びがん専門医療人育成コースは，必修科目2単位，選択必修科目3単位及び選択科目25単位を含む計30単位以上を修得する。ただし，がん専門医療人育成コースの選択科目は，専門科目25単位を含むものとする。 総合診療・地域医療コースは，必修科目2単位，選択必修科目3単位及び総合診療・地域医療学及び医療疫学・統計学を含む選択科目25単位を含む計30単位以上を修得する。 次世代研究者挑戦的研究プログラムの育成生は，＊印の授業科目を修得する。				

## Ⅱ．令和５年度入学用

別表第５（第１５条第１項関係）

医療過疎解消のためのグローバル地域医療学人材育成プログラム

科目区分	授業科目	地域医学研究 コース（Ａ）	地域医療人 コース（Ｂ）	授業を行う 年次	単位数	
					講義 演習	実験 実習
必修科目	医学総合研究特論Ⅰ			1・2	1	
	医学総合研究特論Ⅱ			1・2	1	
	持続性科学とSDGs			1・2・3・4	2	
	英語による発表			1・2・3・4	2	
	特別実習			1・2・3・4		1
選択 必修科目	基礎医科学	（○）		1・2	1	2
	応用医科学	（○）		1・2	1	2
	臨床医科学		（○）	1・2	1	2
	臨床腫瘍学総論	（○）	（○）	1・2	2	1
	感染症学Ⅰ	○		1・2・3・4	2	3
	基礎免疫学Ⅰ	○		1・2・3・4	2	3
	環境医学Ⅱ		○	1・2・3・4	2	3
	総合診療・地域医療学		○	1・2・3・4	2	3
選択科目	抗体やワクチンによる感染症の 予防・診断・治療			1・2・3・4	2	3
	臨床免疫学Ⅱ			1・2・3・4	2	3
	腫瘍免疫学Ⅰ			1・2・3・4	2	3
	地域がん治療学			1・2・3・4	2	3
	器官系の病態構造Ⅱ			1・2・3・4	2	3
	*Science for a sustainable society and future Earth			1・2・3・4	1	
	【医理工農連携】					
	医療のための光工学			1・2・3・4	2	3
	機能性物質・食品の医療応用と 環境影響			1・2・3・4	2	3
	臨床医学と社会・環境医学への 高度情報学・数学の応用			1・2・3・4	2	3
	理工医学のための生物材料科学及 び放射線			1・2・3・4	2	3
（備考）	必修科目 7 単位，選択必修科目 13 単位「○を付した 2 科目及び，（○）を付した 3 科目（コース A）または 2 科目（コース B）から 1 科目を修得すること」，選択科目 10 単位を含む計 30 単位以上を修得する。					